

2023年2月22日(水)第四水曜祈祷会

創世記23章1～20節

『最初の所有地』

■創世記22章1～24節 『神が与える試練』 *アブラハムの生涯における最大の試練

- ①神はアブラハムに「ひとり子イサク」を全焼のささげ物として献げよと命じられた。
- ②アブラハムは神のことば通りに、モリヤの山でイサクを縛り、刃物を振り下ろした。
- ③神はアブラハムの信仰を見て、身代わりの雄羊を備えられた。主の山に備えあり。

■創世記23章1～20節 『最初の所有地』

1. 約束の地に墓地を購入する(23章1～6節) *アブラハムは寄留者であった

- ①アブラハムはサラの訃報を聴いてどうしましたか。
→
- ②アブラハムはなぜヘブロンに私有地を購入しようと思ったのですか。
→
- ③ヒッタイト人たちの「神のつかさです」という言葉は何を表していますか。
→

2. 人々の前で正式に取引する(23章7～16節) *四百シエケルは法外な金額

- ①アブラハムはヒッタイト人たちに対してどのように交渉していますか。
→
- ②エフロンは最初「差し上げます」と言いながら、なぜ後で代金を申し出たのですか。
→
- ③アブラハムはどのようにエフロンと取引しようとしていますか。
→

3. サラを墓地に埋葬する(23章17～20節) *

- ①取引の結果について、なぜこれほど詳しく記しているのですか。
→
- ②アブラハムはどのような思いで、サラを埋葬しましたか。
→
- ③信仰者にとって「墓地」とはどのようなものですか。
→

【適用と分かち合い】

- ①アブラハムにとってサラはどんな存在だったと思いますか。
- ②アブラハムは約束の地での最初の私有地はどのように与えられましたか。
- ③あなたにとって天の御国が備えられていることはどんな意味がありますか。